



園だより (令和7年度4月号)

2025年4月1日
社会福祉法人国立保育会
国立ひまわり保育園
園長 青野 千晴

保育理念：かけがえのない命をはぐくむ場

ご入園、ご進級、おめでとうございます。

お子様のご入園、ご進級、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

4月1日に入園、進級の日を迎え、保護者の皆様方のたくさんの愛情につつまれた、かわいい子どもたち114名で、新年度が始まりました。

たくさんの可能性を秘めたお子様の健やかな成長を願って、職員一同、力を合わせて努めてまいります。皆様、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。



保育目標

1. 心身ともに健康な子ども (健康)
2. 誰とでも仲良くできる子ども (人間関係、人権)
3. 自分で考え行動できる子ども (自主性)



<4月の行事予定>



日	月	火	水	木	金	土
		1 令和7年度 第6回入園式 緊急メールテスト送信	2 新入園児慣れ保育 1日目	3	4	5
6	7	8 3.4.5歳児体育指導 布団乾燥	9	10	11	12
13	14	15 3.4.5歳児体育指導	16	17 春の全園児健康診断 9:30-	18	19
20	21 0.1歳児身体測定	22 3.4.5歳児体育指導	23 布団乾燥 3.4.5歳児身体測定	24 3.4.5歳児尿検査提出日 避難訓練 (火災) 消火訓練	25 2歳児身体測定	26
27	28	29 昭和の日 (祝日) (休園日)	30 こいのぼりのお話 こいのぼりメニュー			

※令和7年度は近隣小学校との行事日程に配慮して年間行事予定を作成しているため、昨年度と行事日程の時期が変更となっております。ご了承ください。(年間行事予定を参照ください。)

※今後の予定 5月23日(金) 災害時引き渡し訓練 16時発令

6月7日(土) 前期保護者懇談会

よろしくお願ひいたします。

あおの ちはる

今年度も引き続き、国立ひまわり保育園の園長として頑張っております青野 千晴と申します。

『保育園ってたのしいな』『またあした保育園くるね!』と子どもたちが感じられるように、そして保護者の皆様が大切なお子様を安心して預けていただけるように、保護者の皆様とお子様の育ち、成長を共有しながら、子どもたちにとっても保護者の方にとっても職員にとっても、この国立ひまわり保育園がひまわりのように明るく元気に笑顔で過ごせる場所であるように職員一同尽力してまいります。保護者の皆様のご理解、ご協力のほど、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



今年度も『子どもと相談する保育』『“指示語・命令語・禁止語・否定語”を使わない保育』に取り組み【子どもの自主性を引き出す保育】をめざしてまいります。



子どもが今どんなことに気づき、何をしたいと思っているのか、そしてそこから今後どんな興味や関心を持ち、活動の広がりや予想されるのか、目の前の子どもの願いは何なのか。子どもたちの気づきや思いに寄り添いながら、遊びの環境を整えて日々の保育をしてまいります。

子どもたちは日々の生活や遊びの中から深い学びを経験し体験して、『生きる力』とも呼ばれる非認知能力が育まれていきます。非認知能力は、自己肯定感が土台になって育まれていきます。子どもたちは、「どんな自分でも受け止めてもらえる」、「怒っても泣いても認めてもらえる」「私は私のままで大丈夫なんだ」という体験を繰り返し繰り返し経験し、丁寧に受け止めてもらうことを通して、まわりから愛されて、認められて、ほめられて、「ありのままの自分を愛してくれる人がいる」という自分や人への信頼感と自己肯定感が育まれていきます。

この自己肯定感こそ、「なんだろう」「やってみよう」「がんばってみよう」「失敗しても私は大丈夫」という思いから、自己選択、自己決定、行動する力の源、そして全ての生きる力、非認知能力の土台となる力であり、主体性、自主性に繋がります。私たち職員は子どもの自己肯定感を高める関わりとして、一人ひとりの子どもとしっかり向き合い、子どもたちの自己選択を促しつつ、思う存分遊べる環境を仕掛けていく中で、温かく応答的に関わっていくことを大切に、保護者の皆様と一緒に子どもたちの育ちを支えていく関係を築いていきたいと思っております。

子どもの自主性を引き出す保育に取り組むにあたり、
大切にしたい子どもの『生きる力』（非認知能力）

『生きる力』とは…物事に取り組む意欲、自分に対する信頼感、やさしさや思いやりなど、数値で測ることはできませんが、人とかかわりながら生きていくには欠かせない「心の成長」につながる力

『生きる力』は、「できる」「できない」という形で見えるものではないので、保護者や保育者は子どもたちが本来持っている力を信頼しながら、一緒に感じて考えていく存在であることが大切です。(中略)
子どもとかわるときに注目すべきことは、「結果」ではなく「過程」です。結果だけ見て、できた・できない、よい・わるいなどと評価するのではなく、「なぜそうしたのか」「何を感じたのか」を大切にしてください。身近な大人が自分の思いを理解し、受け入れてくれた…。こうした経験の積み重ねが他人への信頼や自分への自信を育て、人の一生を支える『生きる力』の土台をしっかりとさせていくのです。

乳幼児教育保育実践研究家 非営利団体コドモノミカタ代表理事

「保育の根っこを考える会」主催 NHK『すくすく子育て』助言者等



いげたようこ
井桁容子先生の言葉より抜粋

この非認知能力は、子どもたちの自発的な活動を通して育まれていきます。子どもたちの自発的な活動や行動を引き出すために、私たち職員は子ども自らの「やってみよう」「なんだろう」という意欲や思いに耳を傾け、共感し、子どもの「やりたい」遊び・活動を十分に保障する環境づくり（人的にも物的にも）をしていくために、「子どもと相談する保育」をキーワードにして、子どもたちが安心してたくさん遊び、いろんな経験ができる毎日を過ごせるように、職員一同、力をあわせ努めてまいります。



おねがい ご協力をお願いいたします

1. 登園時、降園時は、玄関内にタブレットが設置してありますので、お子様の登園時間、降園時間を把握するため、保護者の方がタブレットを操作してください。
2. 当園では園内外に問わず、常に園児の人数確認を徹底し、保育を行っております。そのため、欠席や遅刻をする際には当日の朝、9時頃までにご連絡ください。欠席や遅刻の連絡は、電話の他にメールでも受付けております。緊急連絡メールのホーム画面「欠席・登園時刻変更の連絡」の項目から入力できますので、ご利用ください。
ご連絡がない場合には、子どもの安否確認のために職員が連絡する場合があります。
3. 園内へ開園7:15より前には入ることはできません。登園は基本9:30までをお願いします。
4. 登園、降園の際は必ず担任か、当番の保育士に挨拶をして、伝言があればお知らせください。通園家庭状況調査書または連絡帳に申請しているお迎えの方と違う方がお迎えに来られる場合は、必ずご連絡ください。ご連絡がないとお子さまのお引き渡しはできず確認をさせていただきます。
基本的に、登園のときは下のお子様（弟・妹）からお預けになり、降園のときは上のお子様（兄・姉）からお迎えをお願いいたします。なお、保育の安全上、上のお子様は保育以外では下のお子様の保育室には入れません。また送迎時にご一緒の小学生も同様に、ごきょうだいの保育室には入れません。1階玄関靴箱周辺でお待ちいただきますようお願いいたします。
5. 防犯上、当園は電子錠を使用しております。登園は門扉、玄関自動ドアに備え付けてありますタッチパネルにパスワードを入力してから、門扉、玄関自動ドアをお入りください。
パスワードが不明の方は、インターフォンにて、クラス名とお子さまの名前と続き柄をお伝えください（例：「〇〇組 国立花子の母のお迎えです」等）。確認後解錠いたします。
電子錠の開閉、タッチパネルへの入力は必ず大人の方が行ってください。特に通用門は、速やかに閉め、子どもの飛び出し、すり抜けがないように注意いただき、扉が閉まったことを必ずご確認いただきますようお願いいたします。
6. お子様の発熱等具合が悪くなったときは、職員から連絡をいたします。症状によりお迎えをお願いすることもあります。連絡先は必ず連絡が取れるようお願いいたします。
7. 登園時の視診でお子さまの状況によっては、受診をお願いすることがあります。
8. 月極めの延長保育をご利用になる方は事前に事務室までお申し出ください。申請用紙にご記入の上、職員までご提出ください。突然の残業等、一日だけの緊急利用もできます。その際は当日の延長保育前までに園までお電話でご連絡ください。私的なご用でのご利用はできません。詳細は延長保育規程をご覧ください。
9. 送迎時に保育園駐車場を利用する方は、利用証が必要ですので、申請書を提出してください。無償での利用を承諾致します。当園の駐車場は、JR 中央線高架下の借り上げ駐車場 **5台**となります。**N01~5**になりますので、お間違いのないようにご利用ください。なお、園周辺の路上駐車は厳禁です。近隣住民への迷惑、交通事故の危険がありますので、絶対におやめください。
10. アレルギー配慮を要する方もおりますので、飲食をしながらの登園、園内への飲食の持ち込み、園内での飲食はご遠慮ください。
11. 災害時、緊急時に備え、毎月1日9時にテストメールを送信しています。確認後、返信をお願いいたします。法人内より転園された保護者の方は、自動的に移動されますので、改めて登録する必要はありません。
12. 園生活に必要なのない物（おもちゃ類・キーホルダー・華美な髪飾り・お菓子等）は、誤飲やケガ、紛失等トラブルの原因になりますので、持ってこないようお願いいたします。

